

学生教育関連 上甲監督講演会 開催報告

2007年1月23日(火)(16:30~18:00)に愛媛大学グリーンホールにおいて、学生教育の一環として、愛媛大学工学部環境建設工学科主催の講演会を開催しました。講師は、2004年の選抜高校野球で済美高校を3年間で初出場初優勝に導き、同年の全国高校野球でも準優勝に導く、高校野球における名将と呼ばれている上甲正典様(済美高等学校野球部監督)で、「夢叶うまで挑戦」と題した講演でした。参加者は全部で102名でした。内訳は、当学科から85名(1回生30名、2回生0名、3回生8名、4回生9名、院生M17名、院生D4名、教職員17名)、他学科11名、教職員6名でした。事前申し込みが少なくやきもきしましたが、皆様のお陰で100名を越えました。3回生学担の企画行事で再三にわたり推奨しましたが、3回生の聴講が少なく残念でした。

講演では、大学を卒業してから監督になるまでの若き日の努力、野球環境のほとんど揃っていない済美高校での野球部立ち上げと生徒指導の工夫、2年4ヶ月で無名の高校生を選抜優勝まで導く道程での努力・工夫などが話されました。「練習は嘘をつかない」という努力こそが勝利の王道、時間の無駄を省き練習量を稼ぐ、数字の持つ意味を徹底的に教えることで練習の神髄を学ばせる、などの話しは、「単なる根性ものの話しからは程遠い緻密な野球指導理論だった」との学生の感想を引き出すには十分でした。教員にも学ぶところ多々ありました。講演後、サインをねだる学生が続きましたが、やさしく応じておられました。その後、残っている学生と一緒に写真を撮りました。「聴衆がすばらしく、話して大変楽しかった。」とのことでした。(文責:森伸一郎 1/23)

